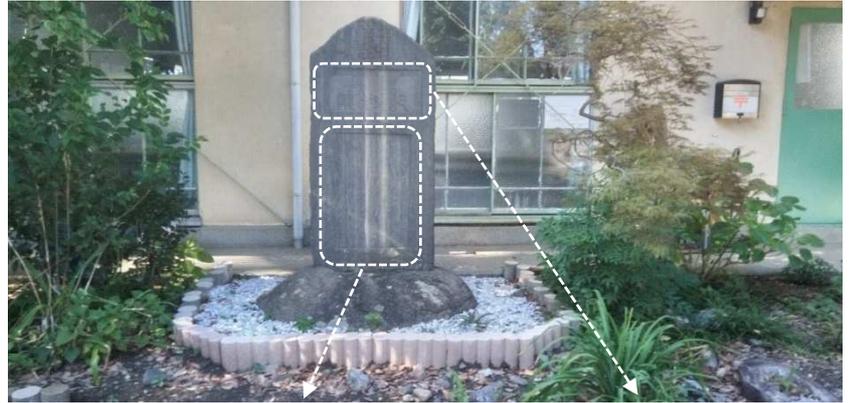


今宿ぼうさい

毎年9月1日は『防災の日』です。今年は関東大震災から節目の100年！

関東大震災 この今宿でも大きな被害が出ました。その惨状を伝える震災記念碑が今宿自治会館前に設置されているのをご存じですか？ 以前、松尾神社境内入口にあったのを移設したものです。自治会館に立ち寄られる機会ありましたら是非ご覧ください。



震災
記念記

全住民が共同で力を合わせ復興に尽くした旨記されており、苦難を乗り越えた当時がしのべれます。

(一九二三年)大正十二年九月一日関東大震災アリ 山・がけ崩れ 田、野(畑)裂け 広大につぶれ 堤防崩れ 家屋倒れ火災起こり
人畜 死傷極めて多く 空前の惨事となり 相模川の沿岸 我が今宿里の如きは 震源地に近くにて 震度 甚だ激しく 地表決裂し 至る所に 水を噴き 家屋ほとんど倒潰して 土地の人は一時住居に困り 飢餓に迫り さんざんたる状況は言うに及ばず それ以来全住民共同で力を合わせ復興に尽くすこと四年後ぐらにようやく村神社 松尾大神の再築成し遂げて 里民敬神の誠を発揮することが出来た それが為の 碑を立て文を刻み これによって後の人々にこのようの惨状(復興)を伝えたい。

昭和二年四月一日

出口彦太郎

湘南を襲った大地震（約300年前以降）

西暦	和暦	名称	地震の大きさ
1923	大正 12	関東大震災	M7.9
1854	安政 1	安政南海地震 (翌日連続発生)	M8.4
1854	安政 1	安政東海地震	M8.4
1782	天明 2	天明小田原地震	M7.0
1707	宝永 4	宝永地震	M8.6
1703	元禄 16	元禄地震	M7.9~8.2

↓
古

次、いつ発生してもおかしくない大地震！

関東大震災 <内閣府情報>

発生日時：1923年9月1日11時58分

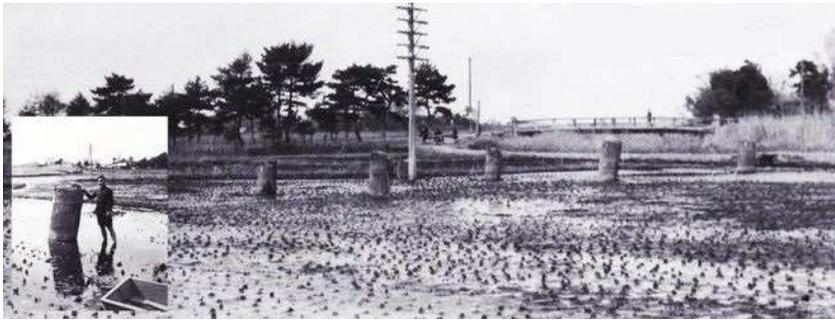
マグニチュード：7.9 ※5分間で4回発生

震源地：相模湾北部～三浦半島付近

死者：10万人以上

全潰全焼流失家屋：約30万戸

- ・東京横浜では大規模火災発生
- ・津波と液状化現象



旧相模川橋脚（鎌倉時代架橋の木造橋脚が液状化で出現）



現在（国指定史跡）… 下町屋



東海道線馬入川鉄橋（鉄橋土台が崩落） ※想像を絶する破壊力



今でも、レンガ造りの橋脚土台を見ることが出来ます

茅ヶ崎の災害状況

当時の茅ヶ崎町役場の記録によれば、人口約2万人のうち、156人が亡くなり、重傷者も61人を数えた。また住宅3426戸のうち2112戸が全壊、1207戸が半壊したという。大きな揺れによって堤防や道路、橋梁の破損も相次ぎ、東海道線の馬入川鉄橋が崩落。茅ヶ崎駅の駅舎や町役場、製糸工場7棟のほか、市域にあった4つの尋常高等小学校の校舎全てが倒壊し、鶴嶺小学校に通う6年生の男子児童1人が亡くなった。

一方で首都東京などで甚大な被害をもたらした火災については「4カ所で出火し全焼は1戸のみ」だった。
<タウンニュース2021.8.27号より>

- 大規模な延焼火災の発生なし
- 海岸堤防を越えて、内陸まで押し寄せる津波なし
- 柳島の低湿地及び海岸一帯の地盤が1メートル以上隆起、各所で液状化が発生

津波被害…由比ヶ浜？ →



津波に襲われた湘南海岸。左に見えるのは陸に打ち上げられた船。

由比ヶ浜漁村～江の島に津波が押し寄せ、行方不明
多数の記録が残る

↑ (上) 茅ヶ崎駅北口駅舎は完全倒壊
(下) 開通後…列車から溢れんばかりの人



← 海沿いの高台にある根府川駅は、背後の断崖が山体崩壊し、駅舎、ホーム、乗客を乗せた列車もろとも海岸まで押し出され、海中に没す



藤沢以南で貨物列車を含め 13 本の列車が脱線転覆！

地震 に対する 10の備え



身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策 をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスノーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を 確認しておこう

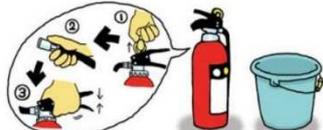
- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

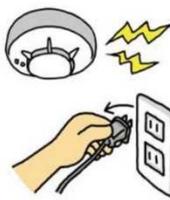
消火の備えを しておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



火災発生時の早期発見と 防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置しておく。



非常用品を 備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー（PSEマーク付）など、必要な電源を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で 話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にすると、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を 把握しておこう

- 自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を 身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を 高めておこう

日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。

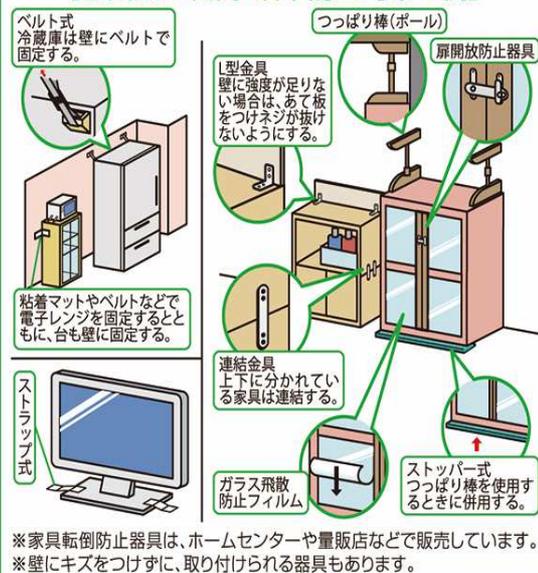


災害の「備え」チェックリスト

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水（できる限り7日分） | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> 食品 | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット/ずきん | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着 | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> レインウェア | <input type="checkbox"/> ペン・ノート |
| <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 | <u>感染症対策にも有効です</u> |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 | <input type="checkbox"/> 石鹸・ハンドソープ |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 救急用品 | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <u>一緒に持ち出そう</u> |
| <input type="checkbox"/> ブランケット | <input type="checkbox"/> 貴重品 |

その他、子ども/赤ちゃんがいる家庭、女性、高齢者がいる家庭 それぞれに応じた備えを！

【家具類の転倒・落下防止対策の例】



近年では、負傷者の30~50%が家具類倒壊によると言われています